



中間発表会では、6グループで検討した素案が発表された。それぞれ顧客企業を具体的に想定して資源の活用方法、研修プログラムなど魅力あるアイデアで即実践してほしいというような様々な提案が出された。

第2班の発表では、都内不動産会社のレストラン誘致部署への提案で、夏でも見られる雪を使うアイデア。レストランの価値向上と中津川への来訪者を増やしていくため、第1弾として、東京に雪を運び飯豊の雪と食材をPRする機会を設け魅力を発信し、第2弾として中津川のファンを増やしてリピーターを増やしていくという提案がなされた。

都会から見れば魅力は充分にあり、各班からもぜひ実現させていきたいとの決意が示された発表会であった。

“ 激レア！山形・飯豊の雪室食材を味わう ～ 真夏の東京に雪がやってくる ” (仮称)

第2班
提案

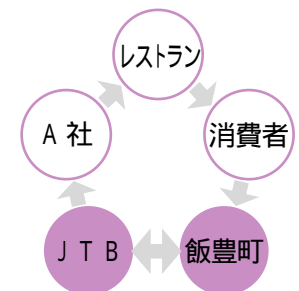
第1の 仕掛け

東京に、飯豊町がやってきた!!

若者が集う東京のど真ん中に飯豊の雪と飯豊の雪室食材を持っていき飯豊の認知度を高める仕掛けをします。

取組例 雪モニュメント展示 雪室ミニオブジェで雪室の役割を説明 雪アトラクション レストランで飯豊食提供 飯豊PRコーナー開設 直売会

飯豊町に人が来てもらうためのサイクル



第2の 仕掛け

飯豊町に、東京の人がやってくる!!

東京の人々に対し飯豊の魅力を発信し、飯豊に来てもらうツアーをつくり、1度来るだけでなく、また来たくなるような仕掛けをします。

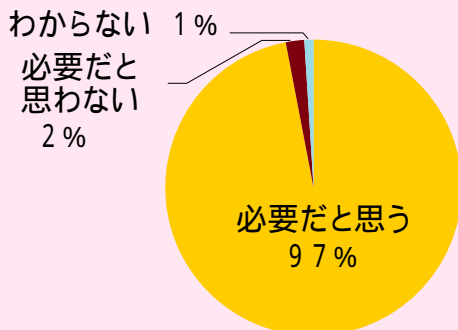
取組例 農家民宿体験 農作業体験 雪室体験、利用

地域づくり
データファイル

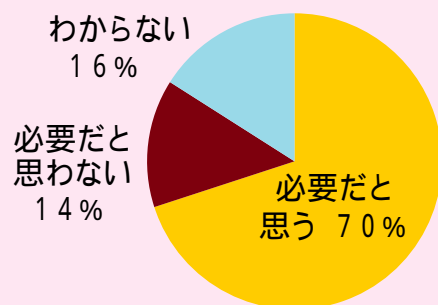
農村（農地など）を守るため 企業などの手助けが必要

70%

農村（農地など）を守るには、地域住民の活動が必要だと思いますか？



農村（農地など）を守るには、企業などの手助けが必要だと思いますか？



JTBが農山村での

企業向けプログラムを提案

飯豊町中津川



農作業体験で汗を流すJTB法人東京の研修生

(写真提供：NPO法人 美しいやまがた森林活動支援センター)

企業との連携で農山村を再生

里山での地域資源を生かした法人向けプログラム開発 実践型研修がこのほど飯豊町で開催された。

これは、飯豊町と㈱JTB法人東京との共同で開催されたもので、同社の実践型研修として若手・中堅社員約30名が参加。「旅行のプロ」でもある研修生が農山村での農林業体験や農家生活体験、地元住民との交流を通じ、「地元資源をツーリズムでどう活用し、それを農山村振興と企業連携にどのようにつなげるか」について、地元関係者と一緒に考えていこうというもの。同時に、里山での企業研修や社員向けの福利厚生など様々なプログラムを開発していく予定となっている。

4日間にわたる研修の最終日となる7月2日には、検討中のプログラムの中間発表会が飯豊町めざみの里で開催された。今後、検討を進め12月に東京ビッグサイトで開催される「農業フロンティア」(主催/経済産業省、農林水産省)で最終の成果が発表される。

農地や山林の荒廃が懸念される農山村での新たな取り組みに期待したい。



農業フロンティア2012で成果発表

2012年12月1日(土)～2日(日)

時間 10:00～17:00

場所 東京ビッグサイト